

殺虫剤

エトフェンプロックス乳剤

サンケイトレボン[®]乳剤

農林水産省登録 第 17169 号

性状：淡黄色澄明可乳化油状液体

毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

消防法：第 4 類第 2 石油類

有効年限：4 年

包装：100mℓ× 60、500mℓ× 20

有効成分：エトフェンプロックス (PRTR・1 種) 20.0%

その他成分：有機溶剤・界面活性剤等 80.0%

(キシレン (PRTR・1 種) 77.3%)

トレボン[®]は三井化学アグロ(株)の登録商標です。

特 長

- 園芸作物の主要害虫防除に優れた効果を示します。
- 速効性とともに残効性に優れるため、長期間害虫の発生を抑えます。
- かんきつの訪花害虫に対して、飛来防止や摂食阻害など、特異な忌避作用があります。

適用病害虫名および使用方法

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	エトフェンプロックス を含む農薬の 総使用回数
稲	-	コブノメイガ	1000 倍	60 ~ 150ℓ	収穫 14 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
		ツマグロヨコバイ、ウンカ類 イネドロオイムシ、イナゴ類	1000 ~ 2000 倍					
		カメムシ類、イネミズゾウムシ	2000 倍					
水田作物、 畑作物 (休耕田)	ヨシ、オギ、 ススキ、 セイタカア ワダチソウ 等の多年生 雑草が優占 している 休耕田	カメムシ類	2000 倍		-			
きび		アカスジカスミカメ	1000 倍		収穫 14 日前 まで			
あわ		アワヨトウ						
ブロッコ リー		アオムシ			収穫前日まで			
キャベツ		アオムシ、コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	1000 ~ 2000 倍		収穫 3 日前まで			
はくさい					収穫 7 日前まで			
だいこん					収穫 21 日前 まで	2 回以内		2 回以内
ねぎ		シロイチモジヨトウ						
レタス		アブラムシ類		100 ~ 300ℓ	収穫 14 日前まで	3 回以内		3 回以内
すいか		アブラムシ類、コナジラミ類 ハスモンヨトウ、ヨトウムシ	1000 倍		収穫 3 日前 まで	4 回以内		4 回以内
メロン		アブラムシ類、コナジラミ類						
かぼちゃ		コナジラミ類、ウリハムシ コナジラミ類						
なす		アブラムシ類	1000 ~ 2000 倍		収穫前日まで	3 回以内		3 回以内
ピーマン								
オクラ		カメムシ類、アブラムシ類	1000 倍					
きゅうり		アブラムシ類、コナジラミ類						

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イトフェンロックス を含む農薬の 総使用回数	
にがうり	-	アブラムシ類 ウリノメイガ、ヨトウムシ類 カメムシ類、コナジラミ類	1000倍	100～ 300ℓ	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
トマト		コナジラミ類							
さやえんどう 実えんどう		シロイチモジヨトウ ウラナミシジミ、ヨトウムシ							
さやいんげん		ワタアブラムシ ウラナミシジミ マメノメイガ							
えだまめ		マメシクワイガ、カメムシ類 シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ フタスジヒメハムシ ウコンノメイガ ツメクサガ							
		ハスモンヨトウ	1000～ 2000倍						
かんきつ		コアオハナムグリ ケシキスイ類	1000倍	200～ 700ℓ	3回以内	収穫14日前 まで		3回以内	3回以内
		ミカンハモグリガ	1000～ 2000倍						
小麦		チャノキイロアザミウマ	2000倍	60～ 150ℓ	2回以内				2回以内
とうもろこし		アワノメイガ、アウヨトウ	1000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	4回以内		4回以内	4回以内
ばれいしょ		アブラムシ類							
かんしょ		ナカジロシタバ アブラムシ類							
		ハスモンヨトウ							
さといも		アブラムシ類 ヤマノイモコガ ハスモンヨトウ							
やまのいも やまのいも (むかご)		マメシクワイガ、アブラムシ類 シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 フタスジヒメハムシ ハスモンヨトウ ウラナミシジミ アズキノメイガ							
だいず	マメシクワイガ、アブラムシ類 シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類、フタスジヒメハムシ ハスモンヨトウ ウラナミシジミ、ウコンノメイガ アズキノメイガ ツメクサガ								
	マメシクワイガ、アブラムシ類 シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 フタスジヒメハムシ ハスモンヨトウ ノメイガ類、ウラナミシジミ								
あずき	マメシクワイガ、アブラムシ類 シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 フタスジヒメハムシ ハスモンヨトウ								
てんさい	ヨトウムシ	1000～ 2000倍					200～ 400ℓ		
ほうきぎ	ホウキギツツミノガ	1000倍		収穫30日前 まで	2回以内	2回以内			
茶	チャノホソガ チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ	2000倍		摘採21日前 まで	2回以内	2回以内			
ふき	コナジラミ類 フキノメイガ、ヨトウムシ	1000倍	100～ 300ℓ	収穫14日前 まで	3回以内	3回以内			
しょうが	ハスモンヨトウ								

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イトフェンプロックス を含む農薬の 総使用回数		
未成熟ささげ	-	アブラムシ類	1000倍	100～ 300ℓ	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内		
モロヘイヤ		アザミウマ類			収穫14日前まで	1回		1回		
葉しょうが		ハスモンヨトウ			収穫7日前まで	3回以内		3回以内		
さといも (葉柄)					アブラムシ類	根株養成期 但し、収穫 45日前まで		2回以内	2回以内	
うど		アブラムシ類	2000倍	25～ 180ℓ	収穫14日前まで	3回以内		3回以内		
あしたば		アブラムシ類			2回以内	2回以内				
たばこ		タバコガ、ヨトウムシ	1000～ 2000倍	100～ 700ℓ	-	2回以内		6回以内	6回以内	
		アブラムシ類								
つつじ類		ツツジグンバイ	2000倍	100～ 700ℓ	-	2回以内		6回以内	6回以内	
		ケムシ類 シャクトリムシ類	4000倍							幼虫発生期
		オビカレハ	2000倍							
樹木類 (つつじ類、 ポインセチア ソテツを除く)		ケムシ類 シャクトリムシ類	4000倍	100～ 700ℓ	-	2回以内		6回以内	6回以内	
		オビカレハ	2000倍							
		コナジラミ類	1000倍							
	ケムシ類 シャクトリムシ類	4000倍								
ポインセチア	オビカレハ	2000倍	100～ 700ℓ	-	2回以内	6回以内	6回以内			
	クromaダラソテツシジミ	2000～ 4000倍						幼虫発生期		
	ケムシ類、シャクトリムシ類	4000倍								
ソテツ	オビカレハ	2000倍	100～ 300ℓ	-	2回以内	6回以内	6回以内			
	シロイチモジヨトウ	1000倍								
	ヨトウムシ	2000倍						100～ 300ℓ	発生初期	
ヒラズハナアザミウマ										
宿根かすみそう	水田	アブラムシ類	1000倍	100～ 300ℓ	-	2回以内	6回以内			
りんどう		アブラムシ類								
きく カーネーション		アブラムシ類								
ゆり		アブラムシ類								
トルコギキョウ	水田	ハスモンヨトウ	1000倍	100～ 150ℓ	-	2回以内	6回以内			
せり	ガラス室等の 施設	アブラムシ類								
せり (水耕栽培)	水田	オキナワイナゴモドキ								
みずいも	水田	アブラムシ類								
みつば	-	アブラムシ類	1000倍	100～ 300ℓ	-	2回以内	6回以内			
マンゴー		アブラムシ類								
マンゴー		チャノキイロアザミウマ								
マンゴー		アブラムシ類								
採種用とうき	水田	キアゲハ	1000倍	100～ 300ℓ	幼虫発生期	6回以内	6回以内			

〔地上少量散布の適用内容〕

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イトフェンロックス を含む農薬の 総使用回数
稲	—	ウンカ類	300～600 倍	25ℓ	収穫 14 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
		ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ イネドロオイムシ	300 倍					
		カメムシ類	600 倍					

使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにしてください。
- 散布器具、作業衣等は薬用と必ず区別してください。
- 水耕栽培に使用する場合、本剤を使用した施設からの廃液をかんがい水路、排水路、河川等には絶対流さず、適切に処理してください。
- 散布に際してはミツバチ及び巣箱に絶対かからないようにしてください。
- 本剤のかんきつ、茶での散布は、場合によりハダニ類がふえることがあるので注意してください。
- ねぎのシロイチモジトウの防除に使用する場合は、食入前の若令幼虫期に散布してください。
- きくのアブラムシ類への使用にあたっては、一部地域のワタアブラムシでは効果が劣ることがあるので使用をさけてください。
- 採種用とうきびを使用する場合は、根部及び葉を収穫せず、種子の収穫に限ってください。
- 本剤を本田の水稲に対して希釈倍数300～600倍で使用する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
- 本剤は自動車等の塗装面に散布液がかかると変色する恐れがあるので、散布液がかからよう注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 誤飲などないように注意してください。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 原液は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には、直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
- 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

水産動植物に係る注意事項

- 本剤は水産動植物(甲殻類、冷水魚)に影響を及ぼすので、河川、養魚池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池等周辺での使用は避けてください。なお、比較的低濃度でも魚が平衡失調を起こすおそれがあるので、十分注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。